第2学年1組　算数科学習指導案

**１　単元名**形をしらべよう

**２　本時の学習**

　（１）目標

　　　○直角三角形の特徴を見出す。　　（数学的な考え方）

（２）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習内容 | ○指導上の留意点 | 時間 |
| １　前時の学習を振り返り、本時　の課題を知る。  ２　正方形の紙を配布し、対角線で折り、その折り目に沿ってていねいにはさみで切る。  　　出来た三角形の形に、直角があるかどうか調べる。  ３　作った形は、大きさは異なるが三角定規と同じ形であることを確認するようにする。  ４　「直角三角形」の用語とその定義を知る。  ５　本時のまとめを行う。  ６　練習問題１を行う。 | ○四角形と正方形の特徴や、違いを確認するようにする。  めあて　長方形や正方形を半分に切って出来た形をしらべよう  ○まずは書画カメラを用い、正方形から見本を見せる。  ○折り紙を配布する。  ○丁寧に折るよう注意するようにする。  ○三角定規を用いて、出来た形に直角があるかどうか調べるようにする。  ○直角があったらそこに丸く赤鉛筆で印をつけるようにする。  ○正方形が出来たら次は長方形で作る。  ○正方形と長方形で、出来る形が違うことに気付くようにする。  ○作った形が三角定規の形に似ていることに気が付くようにし、長方形と正方形の形を切ったものがそれぞれどちらの三角定規と同じ形かを考えるようにする。  ○出来た三角形の角は１つだけ直角であることを確認し、そのような三角形を直角三角形と呼ぶことを知るようにする。  ○様々な形や向きの直角三角形を用意し、傾いた位置に置かれていても直角が１つあれば直角三角形であることをおさえるようにする。  まとめ　直角のかどがある三角形を、直角三角形といいます。  ○直角三角形の特徴をしっかりおさえるようにする。  ○直角三角形を選び、それを選んだわけを書くようにする。  ○どこに直角があるかを確認するようにする。  評 直角三角形の特徴を見出すとともに、定義や性質をもとにして、図形を弁別しそのわけを説明している。 | 5  15  5  5  5  10 |

**３　備考**在籍児童数　35名

板書計画

めあて

長方形や正方形を半分に切って出来た形をしらべよう

まとめ

直角のかどがある三角形を、

直角三角形といいます。

直角